

## H29.11.2 《近畿地区》 「地域文化・保育文化の継承について考える」

場所：宝塚市立西山幼稚園 ～公開保育・研究発表及び講演会～

講師：赤木 公子先生（梅花女子大学心理こども学部こども学科教授）

演題：「地域と共に、子育て文化の継承を」



秋晴れの午後、150名もの参観者が熱心に参集し、地域の未就園児親子や保護者が一緒に遊ぶ、「好きな遊び～あかねちゃんタイム～」の時間が公開されました。

在園児が考えたどんぐり転がしの遊びに、未就園児や保護者が一緒に参加し、お寿司やピザを一緒に食べるなど、それぞれにかかわりを楽しむ姿が見られました。

このような「好きな遊び」の時間は、西山幼稚園の子どもの実態から、子ども自身が主体的に判断したり、自己決定力を高めたりできるようになってほしいとの願いから、10年前から継続して実施されています。

未就園児とかかわることで、自分が考えたことを丁寧に伝えたり、思いをくみ取ったりする経験を積み重ねていきます。未就園児が日常的に保育に参加することで、異年齢交流の幅が広がり、また、大きくなることへの憧れや、やってみたい意欲が膨らんでいく様子が伺えました。

保護者ボランティアの皆さんは、未就園児の保護者の不安が解消できるように、保護者目線で相談に乗ったり、幼稚園の流れや行事等の説明をする役割を担っておられました。

指導助言を含め、この日の講演を引き受けてくださった赤木先生は、元西山幼稚園長であり、この園の「好きな遊び」の原型を提案された先生です。園周辺で有名な赤とんぼ「ミヤマアカネ」にちなんで「あかねちゃんタイム」と命名したのも赤木先生です。

赤木先生からは、未来をたくましく生き抜く子どもを育成する新しい教育要領の理念と、保護者の加護の中で小さな失敗をあまり経験しないで大きくなっていく西山幼稚園の幼児の実態を重ね、研究テーマ「失敗を学びにかえて育ち合う」が導かれた経緯について説得力のあるお話を展開していただきました。



自園の子どもの実態を把握し、子どもに必要な経験は何か、環境構成はどうするのか、教師が果たす役割はどのようなものなのか、園の教職員と一緒に考え合って保育を工夫し、創造していく大切さを感じました。また、毎年変わっていく保護者や教師に、園の保育文化・子育て文化を継承し、さらに深めていく難しさと大切さを教えていただきました。

貴重な公開保育の機会を提供してくださった宝塚市立西山幼稚園の先生方、熱心に参集いただいた先生方、そして、多くの気づきや視点を与えてくださった赤木先生に深く感謝申し上げます。